

平成27年度 星翔高等学校 学校評価報告書

学校長 種橋 和憲

1 目指す学校像

- 生徒の個性・適性に合った実践的な学習を展開し、創造力豊かな人物を育成する。
- 生徒一人一人の個性を尊重し、知的好奇心を刺激する。
- 社会人として、他者と共存するためのコミュニケーションの基礎力を育成する。
- 個を尊重し、安心安全な学校生活のための人権教育の充実を図る。

2 本年度の教育目標

- 学力の向上を目指し、教員の授業力および個別指導の充実に取り組む。
- 基本的生活習慣の確立を目指し、日々の生活態度を向上させる。
- 学校行事、部活動への積極的参加を促す。
- 他者との共存を基本とする人権教育に取り組む。

3 本年度の取り組みおよび自己評価

領域	具体的な取り組み計画	取り組み達成状況	次年度への課題
学習指導等	<ul style="list-style-type: none"> わかる授業のための教育力、授業力の向上 進路実現に向けた学力の向上 学び直しの取り組み 自学自習力の向上 ベル着運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容を吟味し、教員の工夫により授業への集中力が増してきた。 補習や個別指導を行い、成果が上がってきている。 基礎学力向上のために各教科が個別に苦心して取り組んでいる。 自学自習する場所がなかなか確保できていない。主に図書館が使われている。 ベル着が定着してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員による授業への集中力を高めるための工夫を図る。 個別指導をより適切に計画的に実施する工夫を図る。 基礎学力アップのための時間を作る。 自習室の設置を検討し、早急に実施できるようにする。 「ベル着運動」の実施継続と、浸透を図る。
生徒指導等	<ul style="list-style-type: none"> 頭髮、服装、挨拶指導 登下校マナー 人権教育の充実 自転車安全指導 教育相談の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部が中心となり成果が出てきている。 マナーの向上を目指した啓発活動に取り組んでいるが、十分に目が行き届いていない。 人権に対する講演、授業で意識は確実に向上している。 自転車の安全指導を自転車通学者に対して行い、後全校的にも取り組んだ。 カウンセリング体制が十分でなく、人権担当が対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部だけでなく全校的取り組みを実施する。 いじめや暴力のない安全安心な学校を目指して、人権教育をさらに強化する。 登下校指導、乗車マナーの指導と啓発活動を行う。 自転車安全講習を実施し、マナーの徹底を図る。 カウンセリング体制を構築するように努める。
進路指導等	<ul style="list-style-type: none"> 指導実現のための予備講座 多様な進路実現のための指導 	<ul style="list-style-type: none"> 学年ごとに外部講師を招いて進路ガイダンスを実施。 希望進路実現のために進学講座(通年)、就職講座(夏季集中講座)を実施して指導している。 進路の多様性に配慮して個別での小論文指導、教科指導、を行い成果を上げている。 就職面では企業訪問で現場を知ることで中途退社の出ない指導で成果を上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年から3年までの一貫した進路ガイダンスの構築 進学講座、土曜講座、土曜留学講座、就職講座の充実 進路先の研究と対策が必要 就職先企業の開拓 指定校推薦校の開拓
特別教育活動等	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動への支援、指導の充実 部活動の活性化 ボランティア活動 キャリア教育の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> 各行事は成功裏に終わったが、生徒の盛り上がり、主体性という面ではまだまだ不十分である。 部活動では、男子、女子共にバスケットボール部が活躍してくれている。また、女子種目の活動実績が目覚ましい。 総合的な学習の時間やクラブ活動時間を利用して地域の美化活動に取り組み感謝されている。 全校的にキャリア教育の充実に取り組み、その一環としてインターンシップを2年次で実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の希望をよく聞き、学校行事の見直しも含めて改善策を検討する。 部活動充実のため、あらゆる支援について検討を進める。 ボランティア活動を実施出来るような方策を拡大する。 インターンシップの取り組みについて、さらに進めるための委員会活動の充実を図る。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議、校務運営委員会等の有効的運営 校外研修の充実 保護者会活動との連携強化 学校関係者評価委員会からの意見聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 各会議は定期的に行われたが、一定の結論に達し、実施されるに至るには再考の余地がある。 校内において教員研修を年間3回実施し、ほとんどの教員が参加できた。 各種行事への保護者参加は多数に上り、充実した活動ができた。年1回の保護者反省会においては学校に対する提案等も出され、連携ができています。 学校関係者評価委員会を発足させて、多くの貴重な意見をいただけたが、開催機会が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 議案の精査と各部署間の連携強化に取り組む。 教員研修を充実させ、近未来の教育を考える場とする。 校外研修内容を校内で共有化し、浸透と推進を目指す。 保護者会との連携をさらに強化出来るように工夫する。 学校関係者評価委員の来校機会を多く設ける。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 施設、設備面の維持、改善 防災訓練の実施 生徒募集の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでおり、各所に不具合が発生した。修繕は早急に対応し維持管理面では問題なかった。 防災計画の一環として、校内での全校的な避難訓練を3回実施した。 募集活動は積極的にを行い中学生対象の活動においては多くの中学生が参加してくれたが、入試においては志願者が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 快適な学習環境を提供できるように努める。 生徒の安全安心のための避難訓練を充実させる。 募集活動への教職員個々の意識を高める必要がある。 募集活動への教職員の参加を促す。 中学生参加活動の内容の見直しが必要。